

3回連続講座



# 人と文化と

## ジェンダーと。

2025. **2/1**, **2/9**, **2/22**  
(土) (日) (土)

【時間】 13:00～15:00

映像作品や出版物など、人を取り巻くさまざまな文化を通して、ジェンダーや女性の生き方、男女平等について考えます。

**2/1(土)** 女子は「わたし」で、男子は「ぼく」  
男女別の自称詞で、困ったことはありませんか？

\* 講師：中村 桃子さん \*

**2/9(日)** <わたし>を生きる：アメリカ黒人女性から学ぶ

\* 講師：大橋 稔さん \*

**2/22(土)** 多様性の社会を生きる：女性学・ジェンダー研究  
の視点から考える

\* 講師：大橋 稔さん \*

【対象】 どなたでも 先着30名

【会場】 堀切地区センター 第一会議室

【受講料】 無料

【申込方法】 12月17日(火) 午前9時からオンライン申請

または電話(03-5698-2211)にて先着順で受付。

申込受付は1月24日(金)までとなります。



オンライン  
申し込みは  
こちらから



第1回

## 中村 桃子 (なかむらももこ) さん

1

関東学院大学教授。博士。  
著書に、『ことばが変われば社会が変わる』『「自分らしさ」と日本語』(ちくまプリマー新書)、『新敬語「マジヤバイっす」—社会言語学の視点から』『翻訳がつくる日本語—ヒロインは女ことばを話し続ける』(白澤社)、『女ことばと日本語』(岩波新書)、『「女ことば」はつくられる』(ひつじ書房、第27回山川菊栄賞受賞)など。訳書に、『ことばとセクシュアリティ』(三元社)など。



第2回

## 大橋 稔

第3回

## (おおはしみのる) さん

2

3

城西大学リベラルアーツセンター所長。教授。専門は女性学、ジェンダー研究、アメリカ黒人女性文化研究。

周縁から社会を見ることは、誰かを見捨てることのない社会の姿を考えるためには大切なことだと考えている。そこで獲得した視点をういながら、日本の実践的問題として男女共同参画について関心を持ち、川越市男女共同参画審議員を務めている。また日本におけるマイノリティ女性の人権にも関心を持っている。

趣味は授業で、趣味＝職業の生活を過ごしている。学生から多くのことを学んでおり、学生に届く言葉を探している。

